

【作り方説明書】

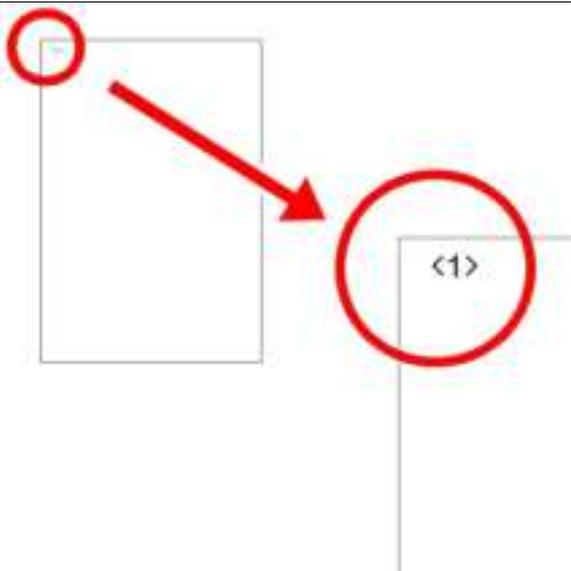
ピンタックノースリーブの型紙

<p>■詳細対応サイズ ・58cm ソフビ L (スマド未確認)</p>	<p>■難易度 イージー/ノーマル/ハード/ハード↑/【エクストラ】</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み 0.23mm</p>	<p>■用意するもの ・普通～やや薄手の生地 ・面ファスナー ・飾りボタン</p>
<p>■手縫い可否 OK</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①後身頃 A 1枚→そのまま1枚 ②後身頃 B 1枚→ // ③前身頃 1枚→ // ④⑤前脇 2枚→左右反転して2枚 ⑥⑦後脇 2枚→ // ⑧⑨見返し 2枚→ // ⑩⑪襟 表布 2枚→ // ⑫⑬襟 裏布 2枚→ //</p> <p>合計：13枚 のパーツで構成</p>
<p>■ピンタックを縫うタイミングについて この説明書では、生地に型紙を書き写してから縫う方法になっています。 最初に縫ってから生地に型紙を書き写したい方は、型紙に入っている線の幅等をご自身で測って頂き、工程を入れ変えて作業を進めて下さい。 最初に縫う場合の説明は行っておりません。</p>	
<p>■必要な布量参考数値</p> <p>【ピンタックノースリーブの型紙 58cm】 横90cm, 110cm, 140cm</p> <p>縦26cm</p> <p>縦6cm *別布</p>	

01. 型紙を貼り合わせる

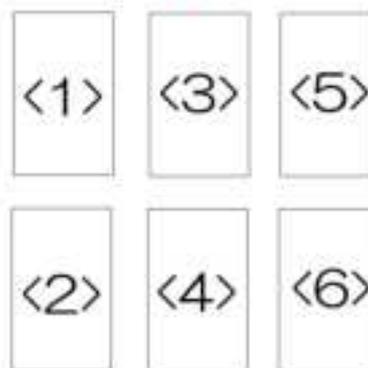
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕

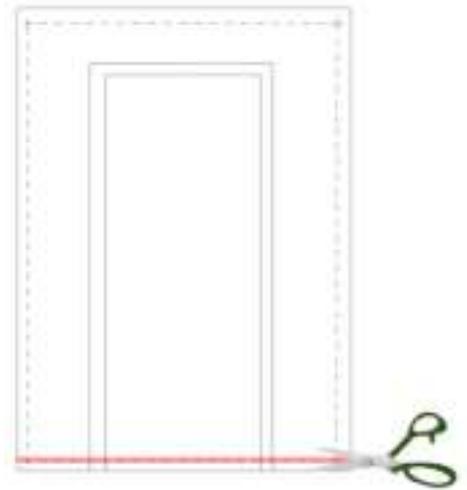


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

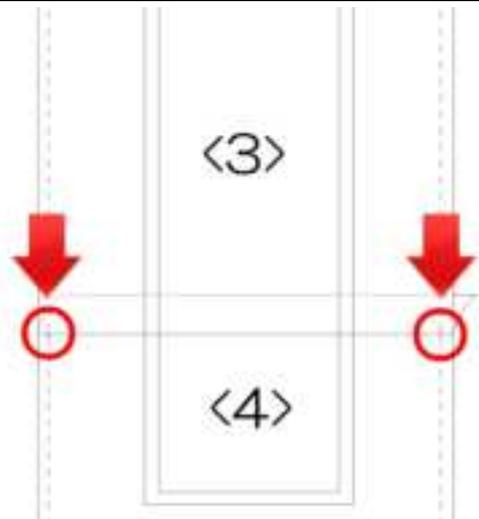
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



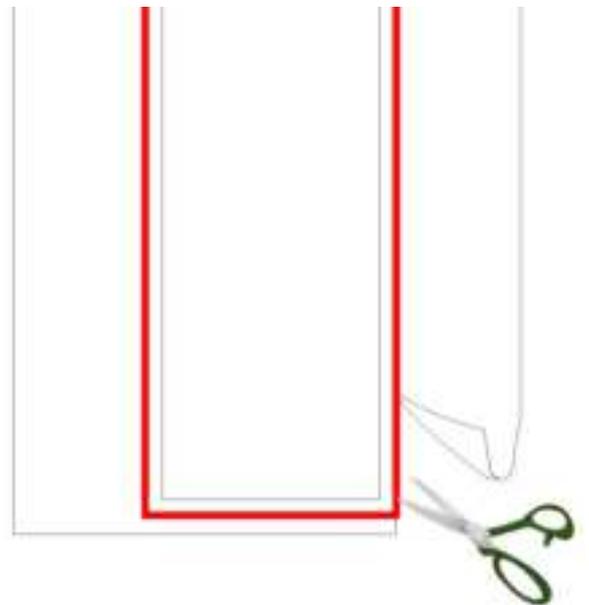
③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。



④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。

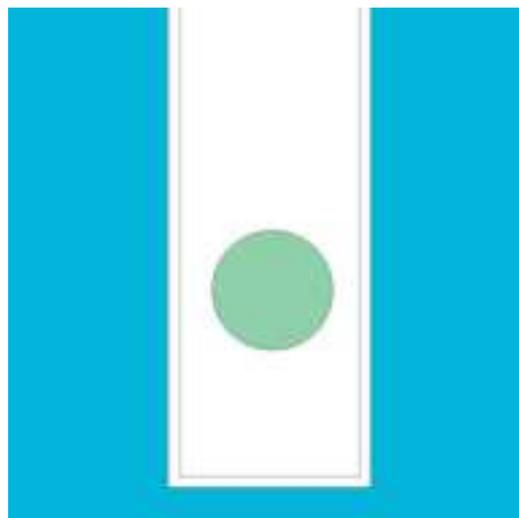


02. 型紙を切り取る。



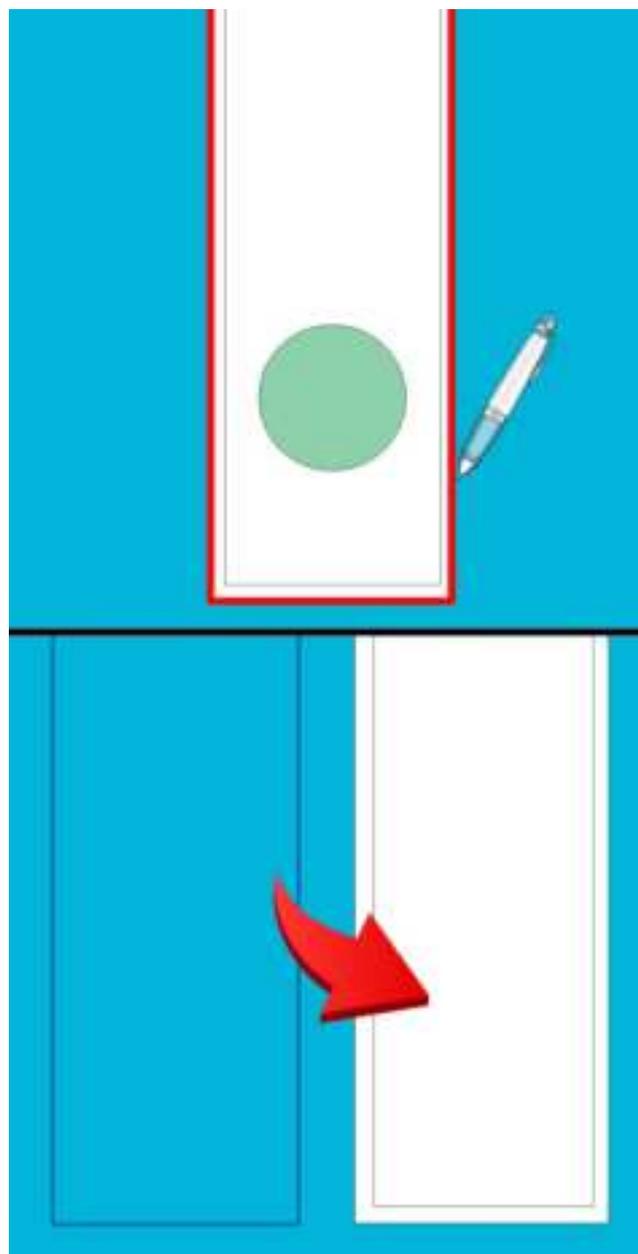
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

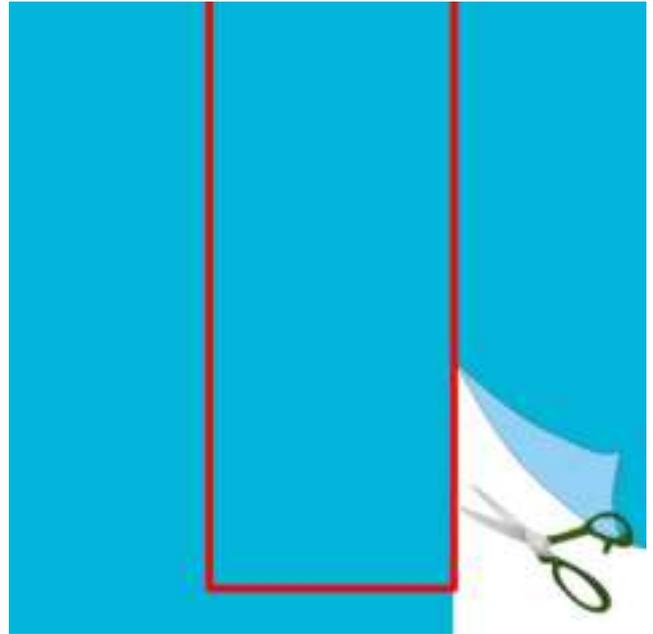


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

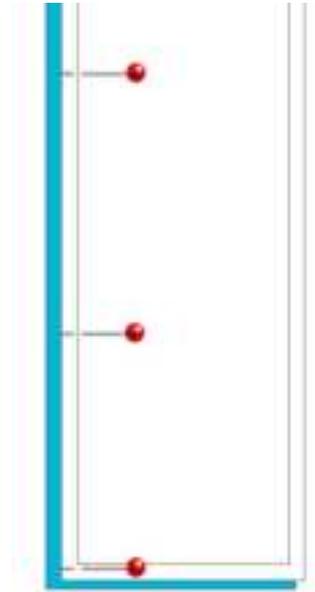


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

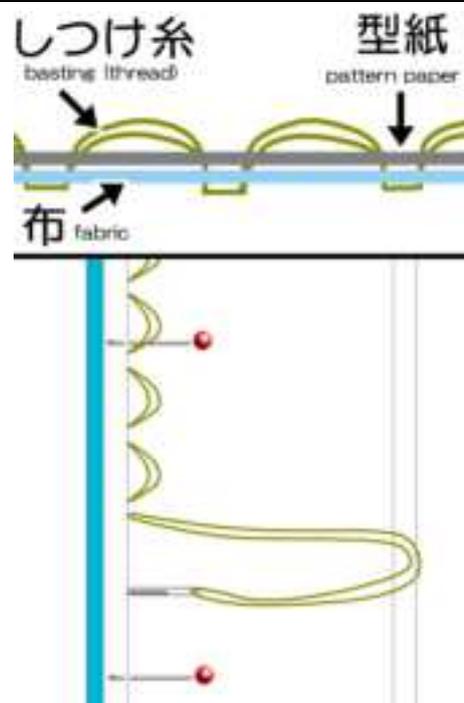
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

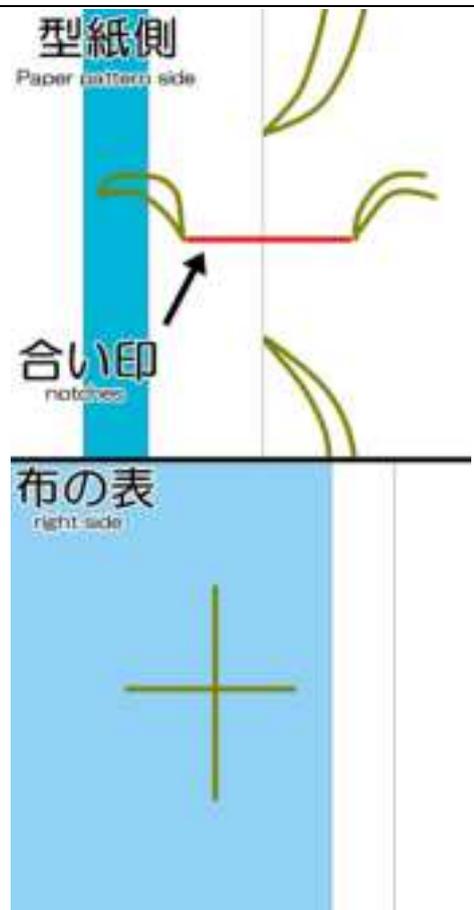
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔 上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕

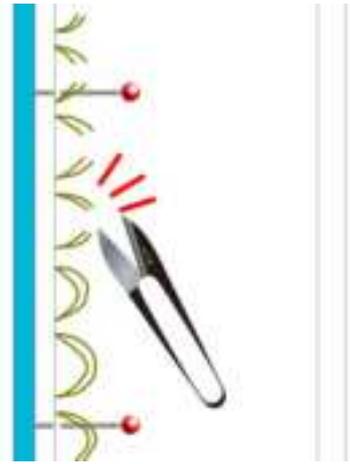




- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



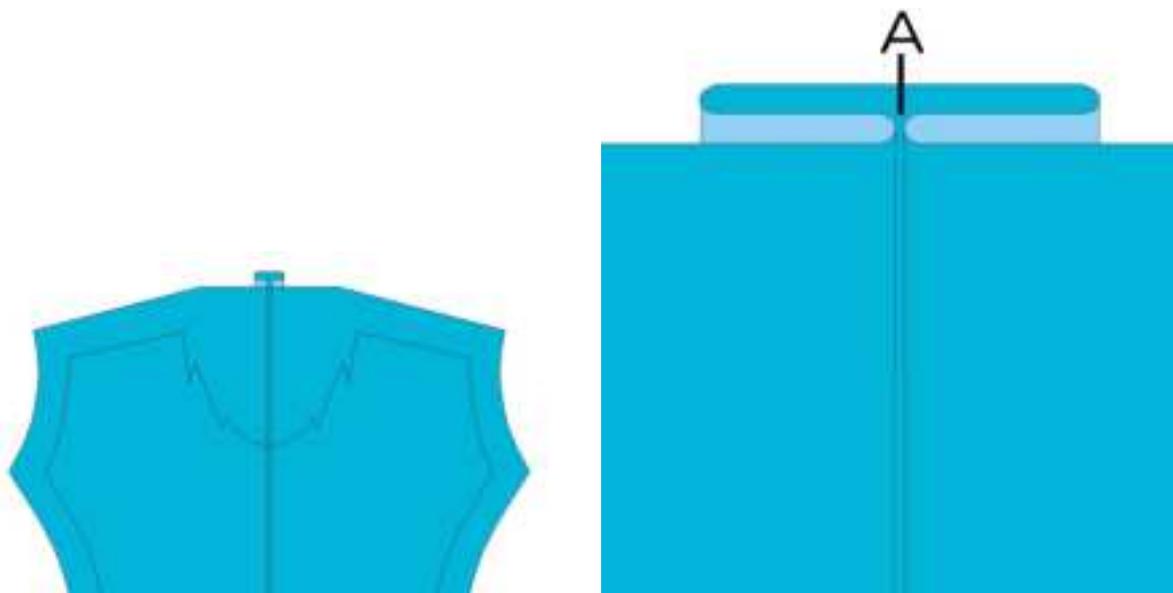
⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうえに、
アイロンか指で糸を寝かせる。



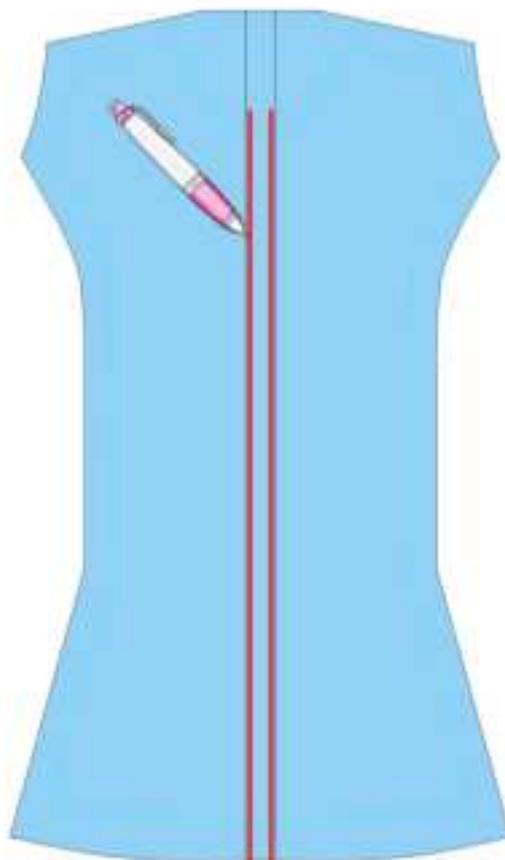
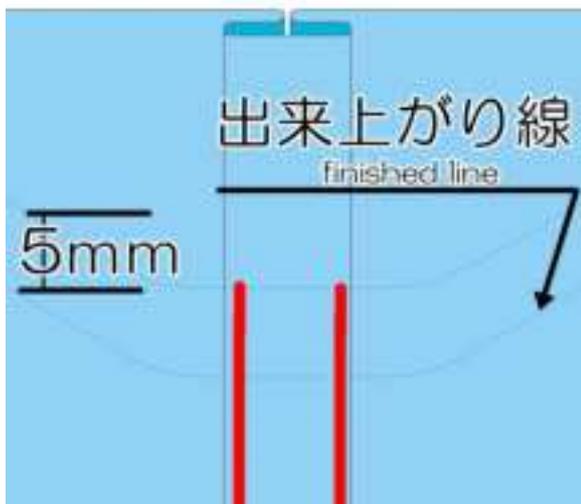
08. 前身頃の中央を”裏から見て”山折と谷折にする。



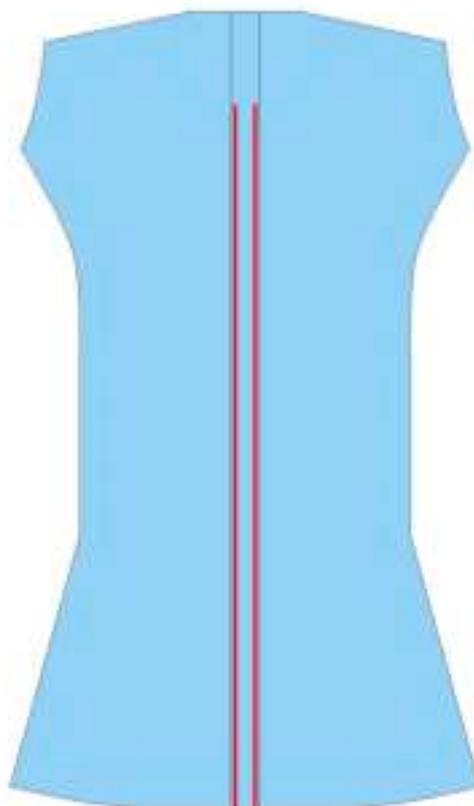
09. 折ったところにアイロンをかける。



10. 折ったところこの端から 1mm の場所に、表から線を引く。
 [出来上がり線から 5mm 程上から引く。

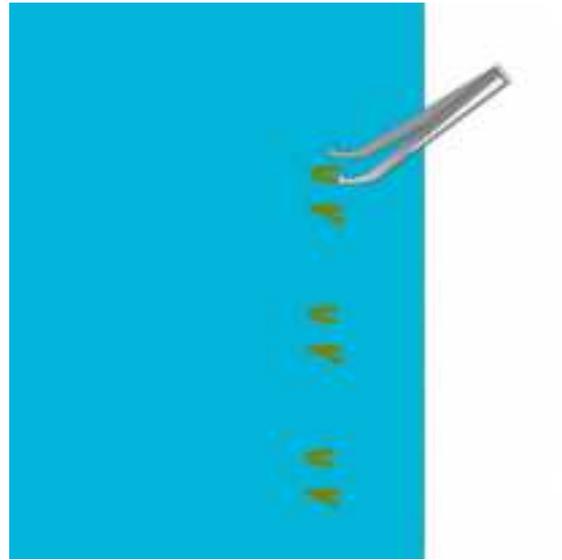


11. 10 で引いた線のところを縫う。

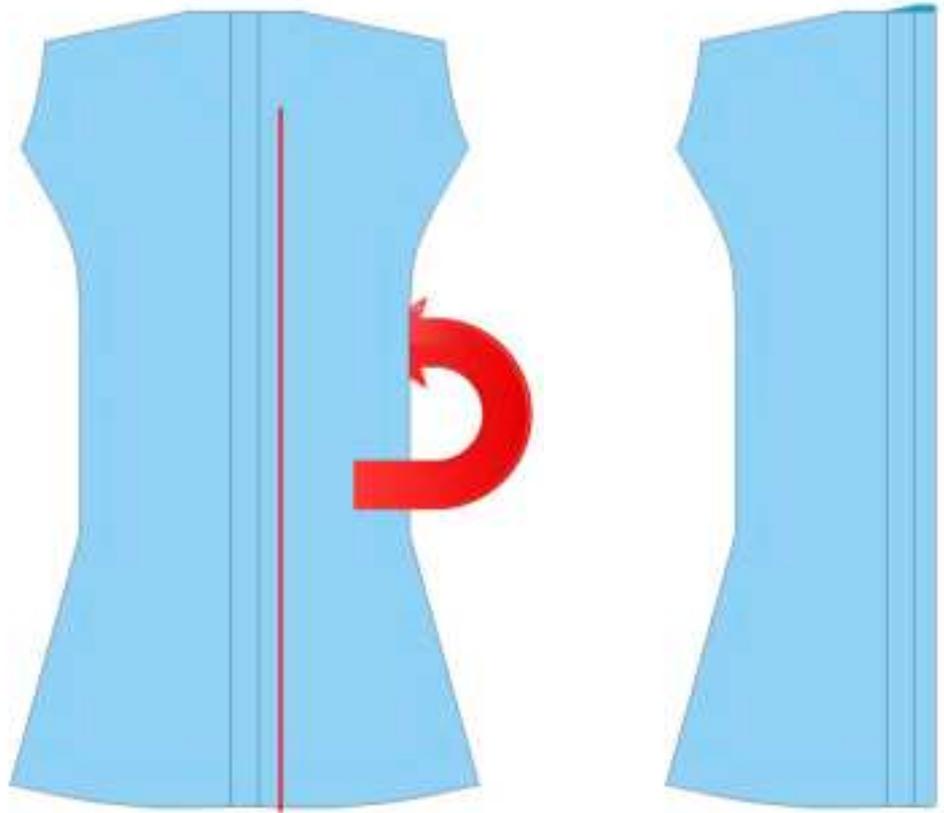


12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

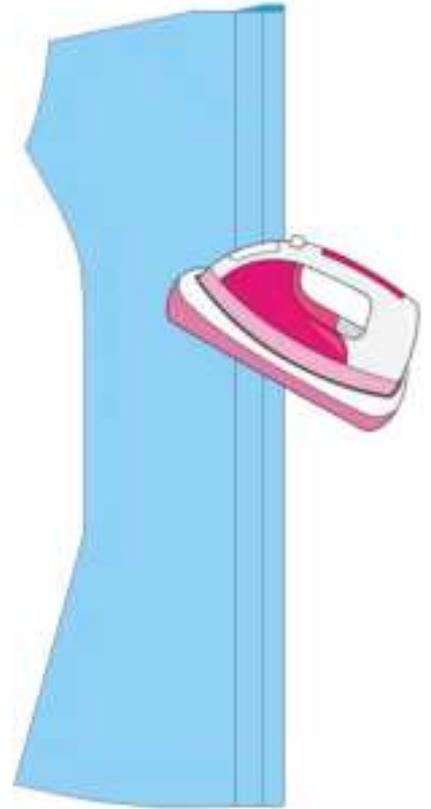
- 〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



13. 裏が内側になるように、ピントックの線を折る。



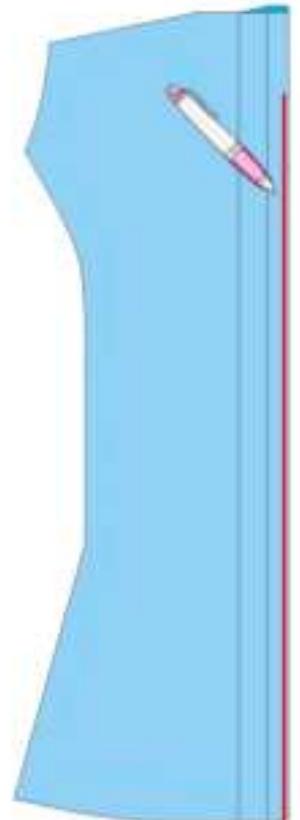
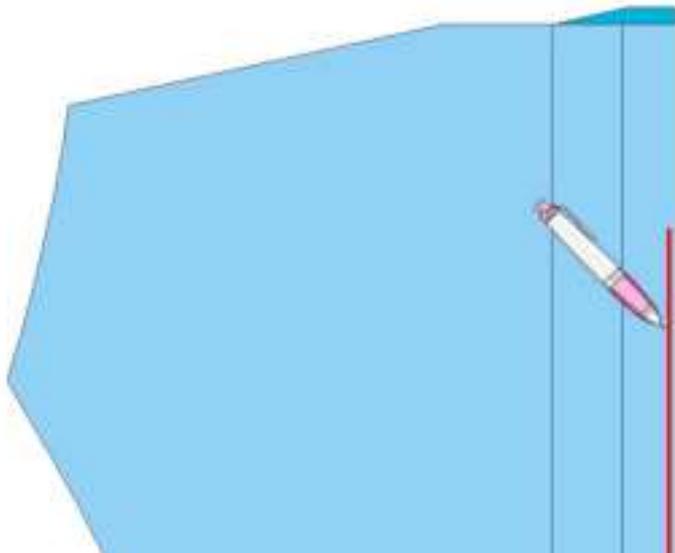
14. 折ったところにアイロンをかける。



15. 残りの線(5本)も全て同じように折って、アイロンをかける。

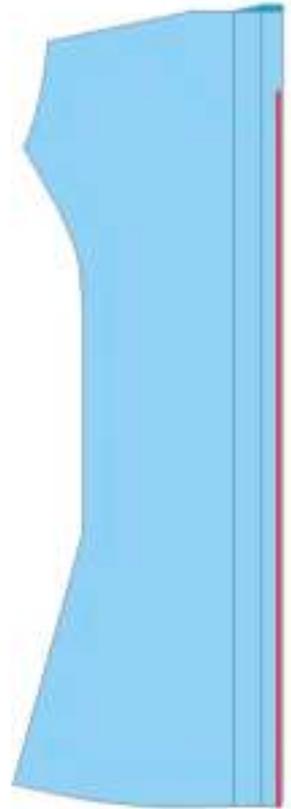
16. 折ったところの端から 1mm の場所に、表から線を引く。

- 〔 出来上がり線から 5mm 程上から引く。
- 〔 6本分、全て線を引く。

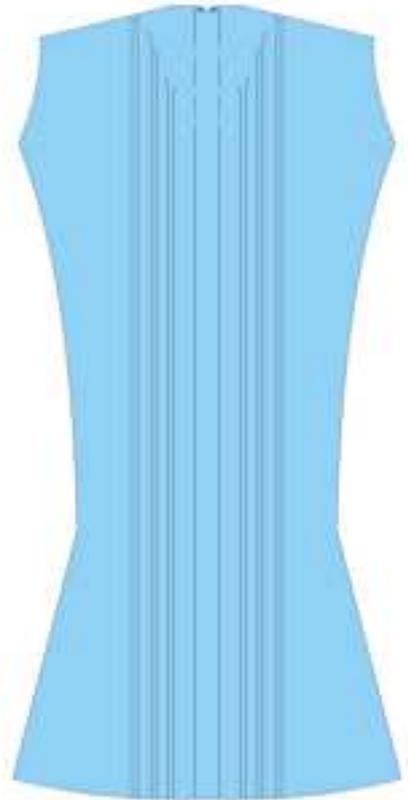


17. 16で引いた線のところを縫う。

〔 余分な布を巻き込まない様に注意。〕



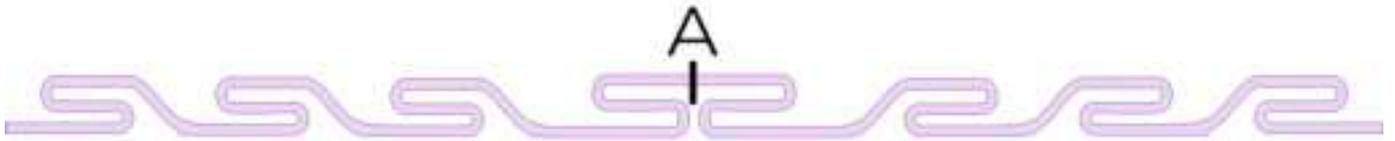
18. 残りの線(5本)も全て同じように縫う。



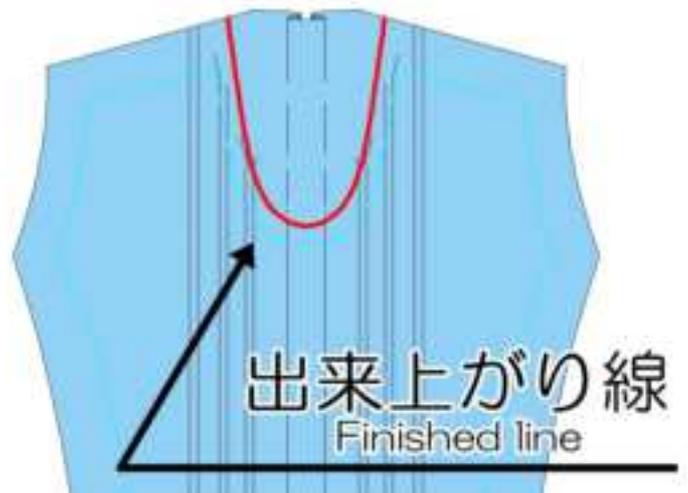
19. 前身頃を広げ左側のヒダは左へ、右側のヒダは右になるようにアイロンをかける。



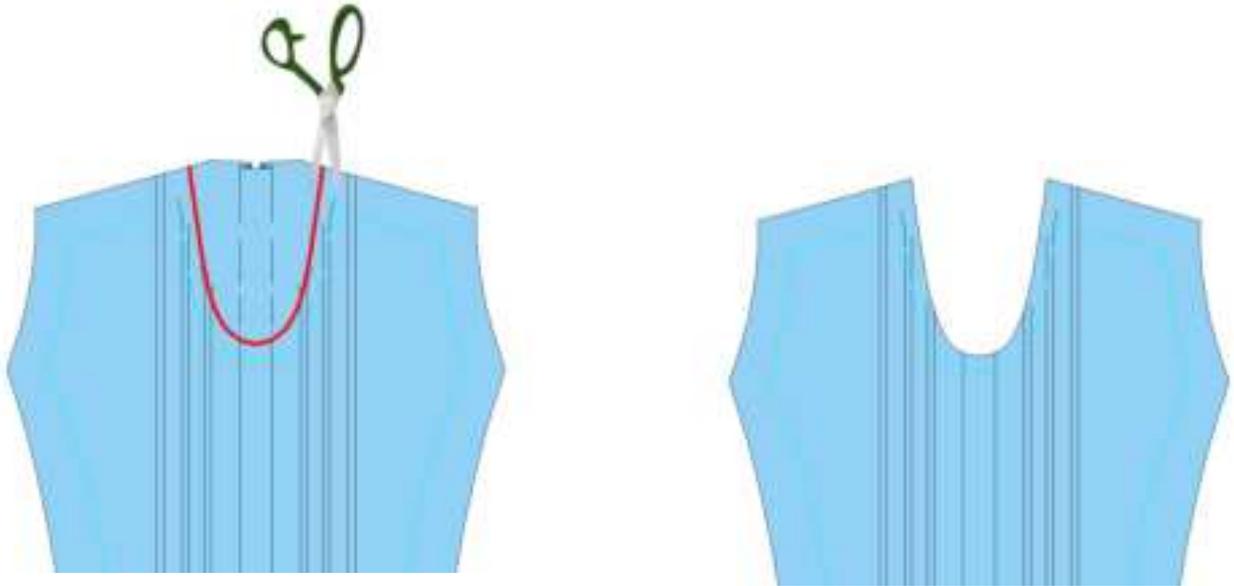
下から見た時
View from below



20. 襟の出来上がり線から 5mm に線を引く。

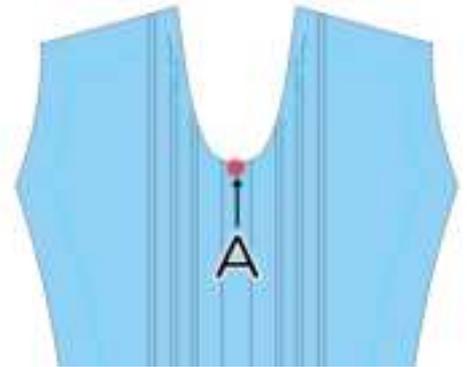


21. 20 で引いた線で切る。



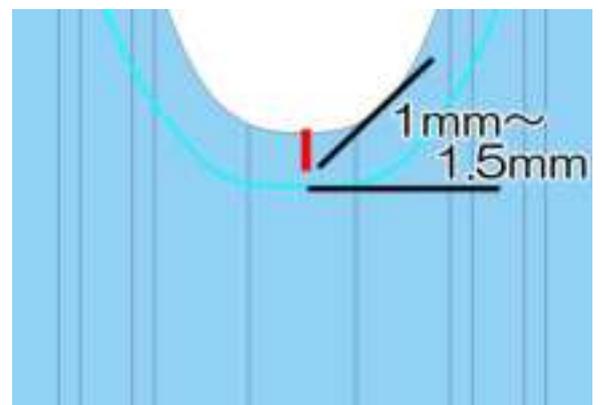
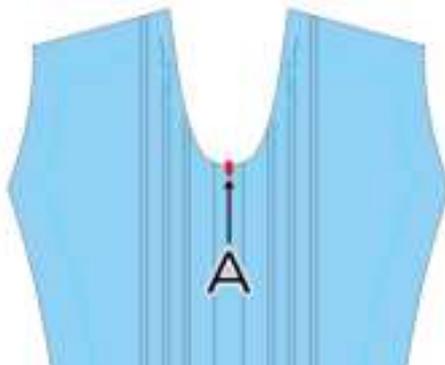
22. 前身頃の A 付近の縫い代に解れ止め液と塗布する。

〔出来上がり線の内側に染み込まない様に、少量ずつ塗布する。〕

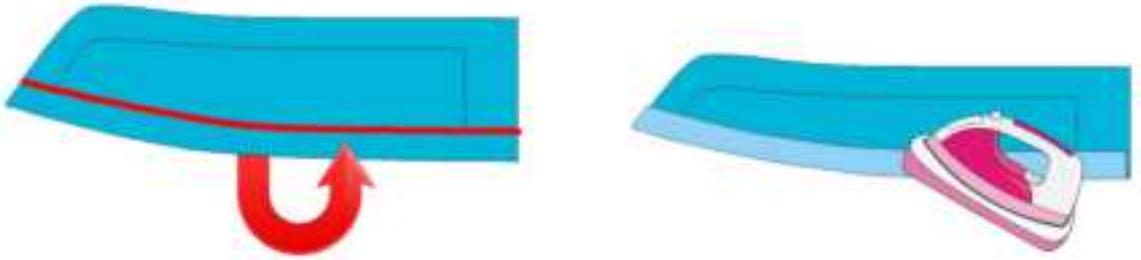


23. 前身頃の A に切り込みを入れる。

〔出来上がり線から 1mm~1.5mm のところまで、切り込みを入れる。〕
〔出来上がり線まで切らない様に注意。〕



24. 襟 裏布×2の身頃側をアイロンで折る。



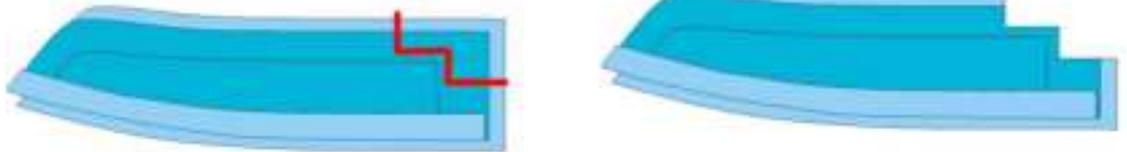
25. 表が内側になるように、襟 表布と裏布を合わせて縫う。

〔反対側も縫う。〕



26. 角を切り落とす。

〔反対側も角を切る。〕

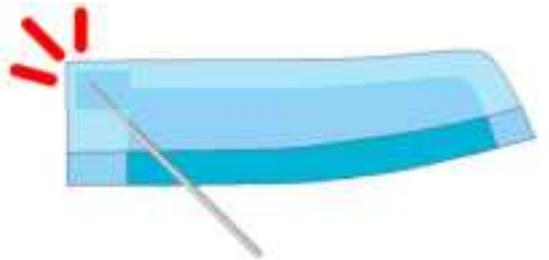


27. カーブに切り込みを入れる。



28. ひっくり返して、角とカーブを表に出して整える。

〔反対側も同じように整える。〕



29. 襟×2にアイロンをかける。

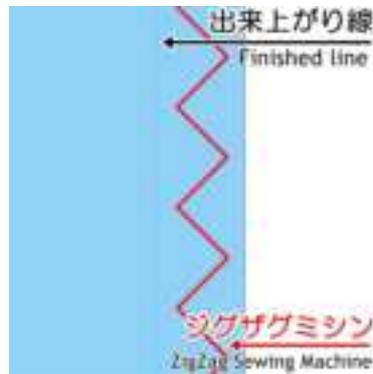


30. 見返し×2 にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 解れ止め液でもよい。〕

✂ 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

〔 布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。〕



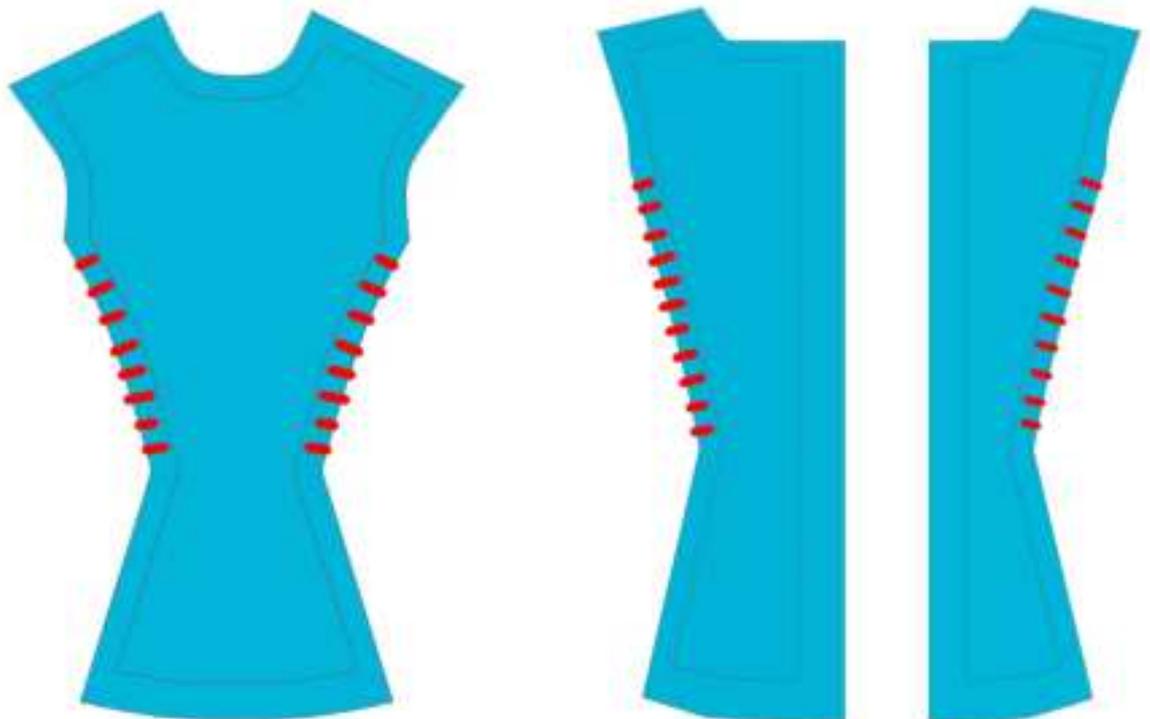
31. 前身頃、後身頃 A、後身頃 B、前脇×2、後脇×2 の W に切り込みを入れる。

〔 W:ウエスト。胴体で一番くびれたところ。〕

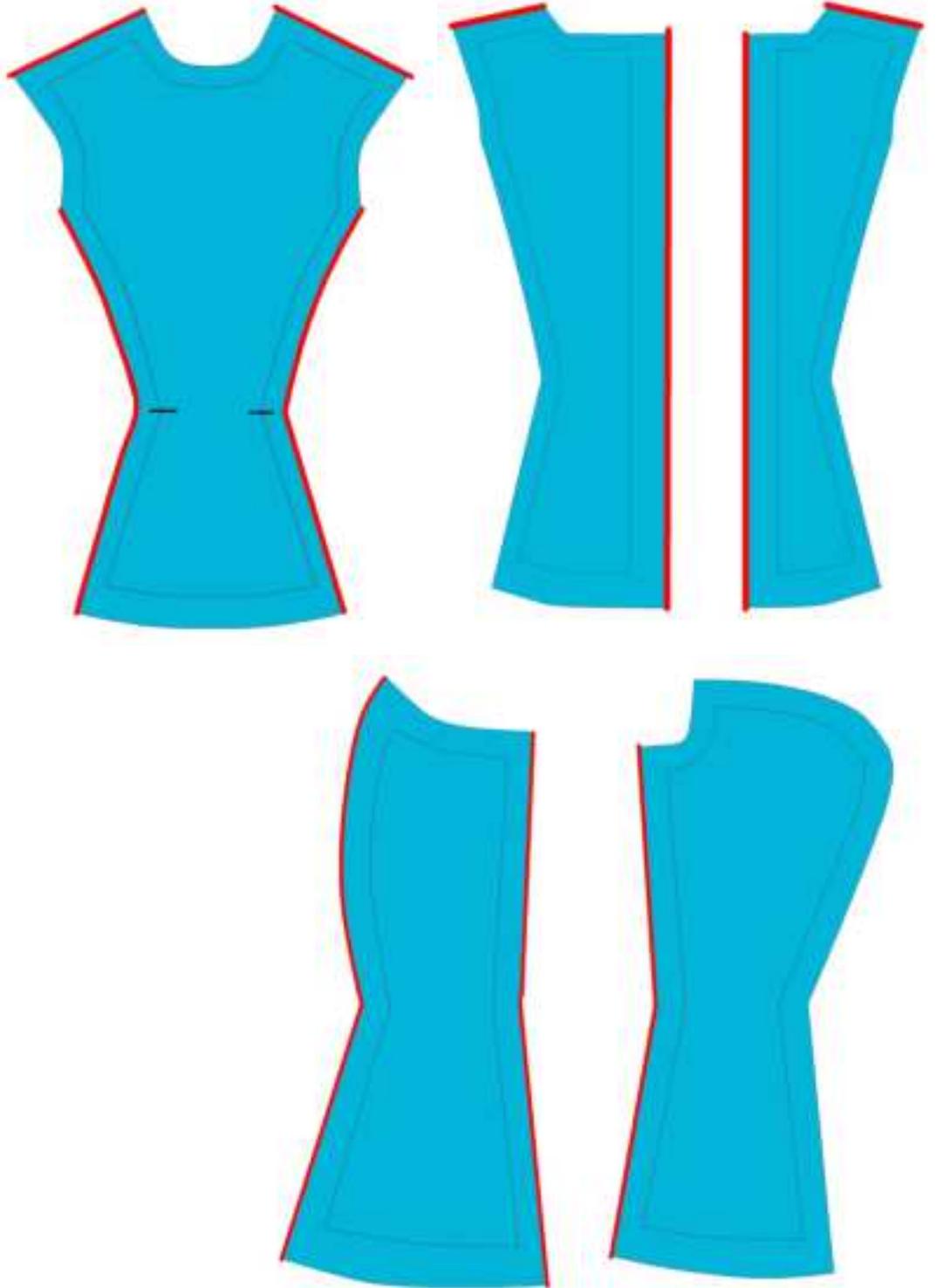




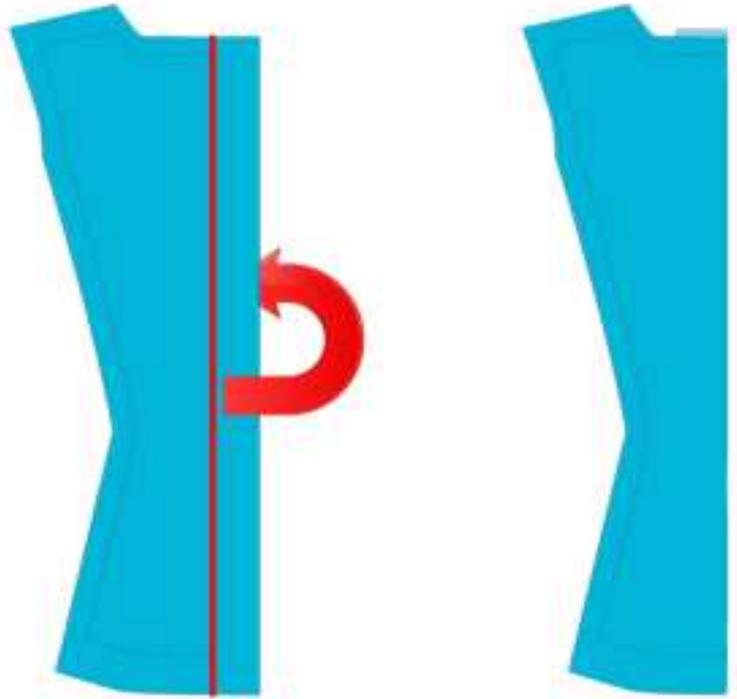
32. 前身頃、後身頃 A、
後身頃 B の上部に切り込みを入れる。



33. 前身頃、後身頃 A、後身頃 B、前脇×2、後脇×2、ロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



34. 表が内側になる様に、後身頃 A の直線を出来上がり線で折る。

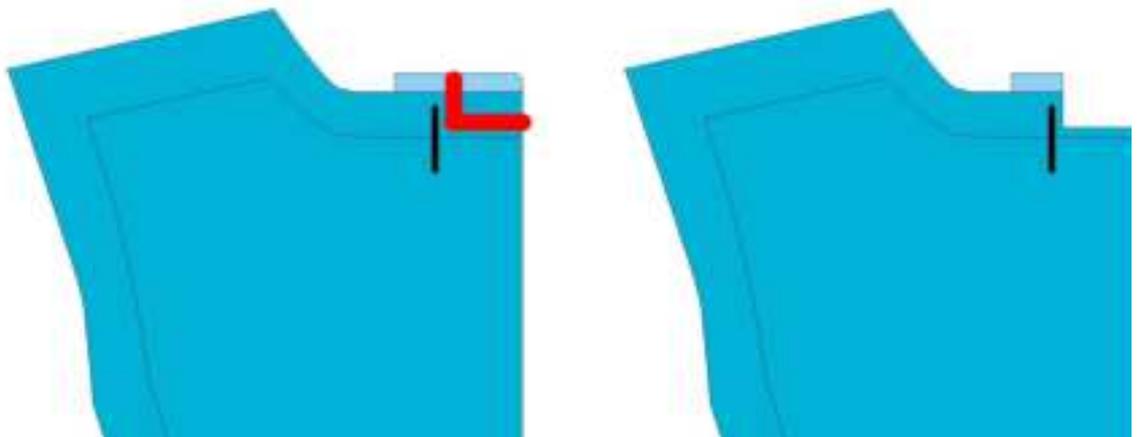


35. 34 で折った端から“襟付け位置”までを L の様に縫う。

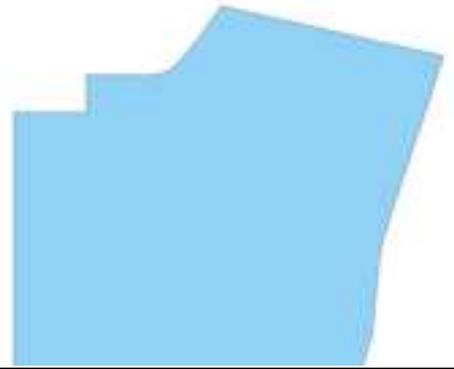


36. 角をカットする。

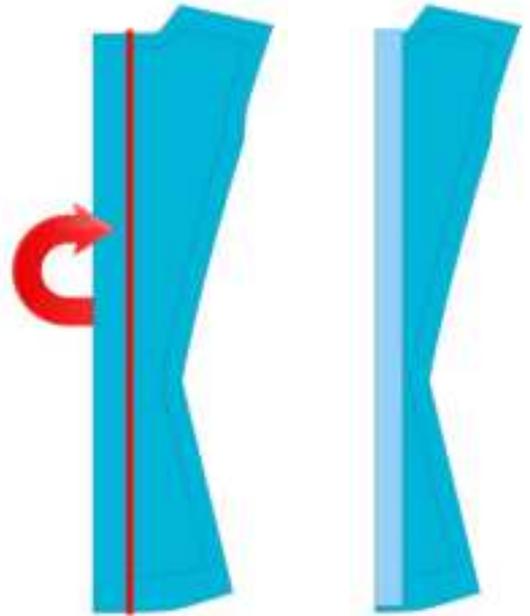
〔 縫ったところから 2mm 程離れた位置で切る。〕



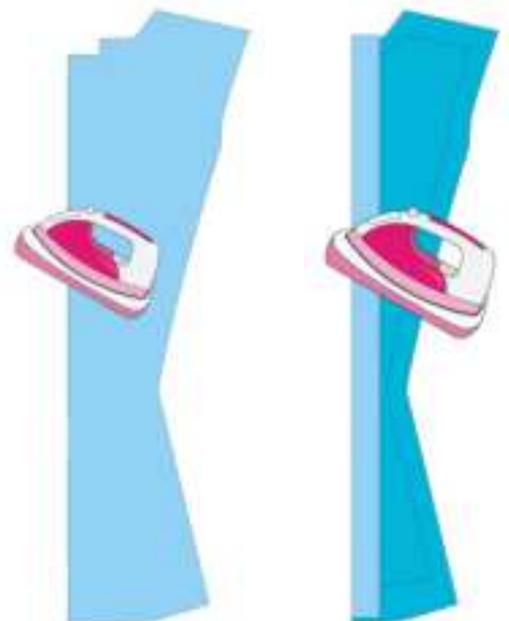
37. 表に返して、角を整える。



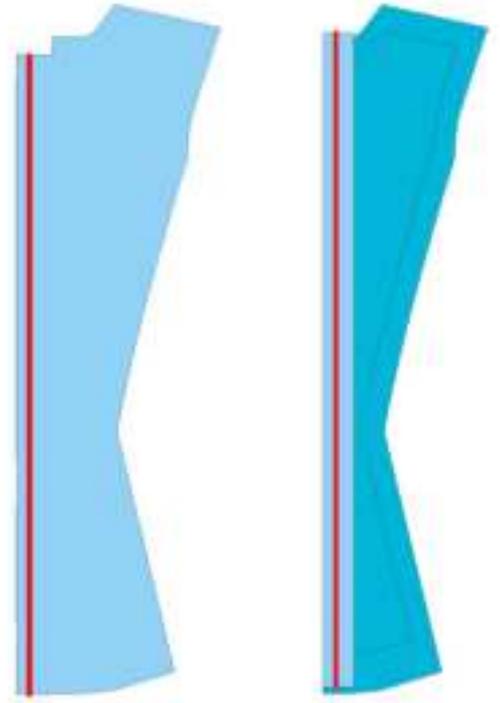
38. 裏が内側になる様に、後身頃 B の直線を出来上がり線で折る。



39. 後身頃 A、B にアイロンをかける。

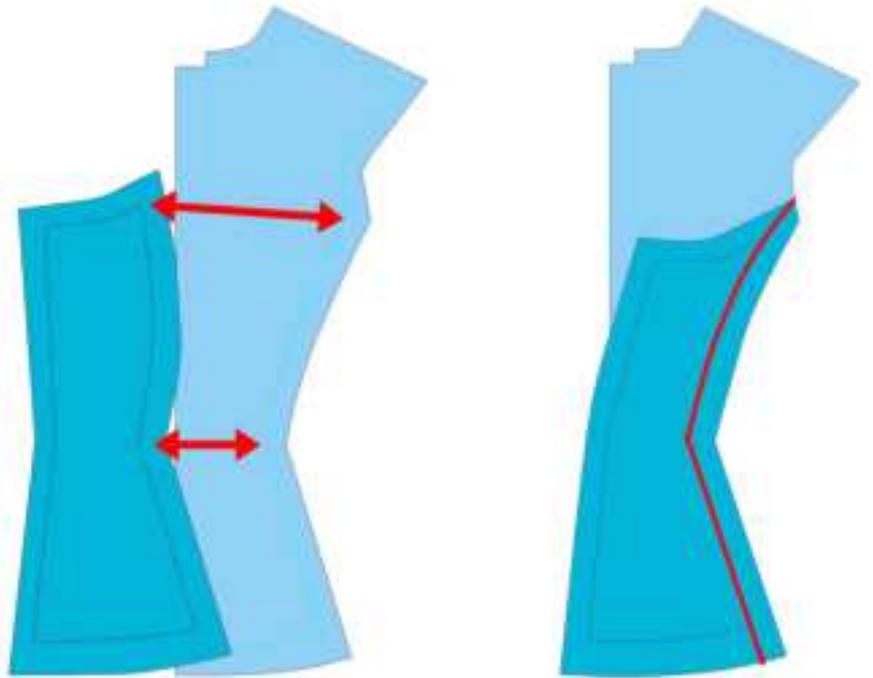


40. 後身頃の端から 5-7mm を縫う。

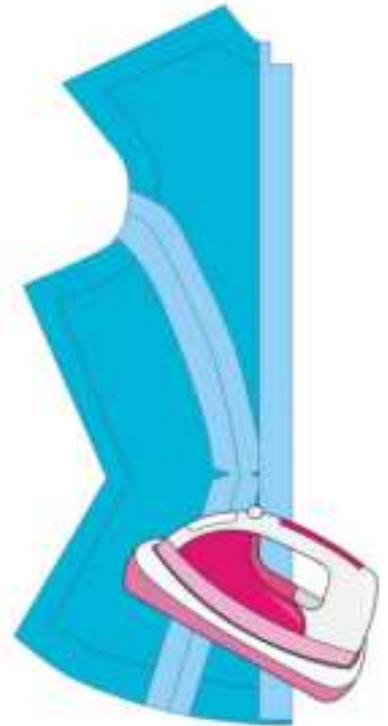


41. 後身頃 A と脇の W を目印に、表が内側になる様に合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕

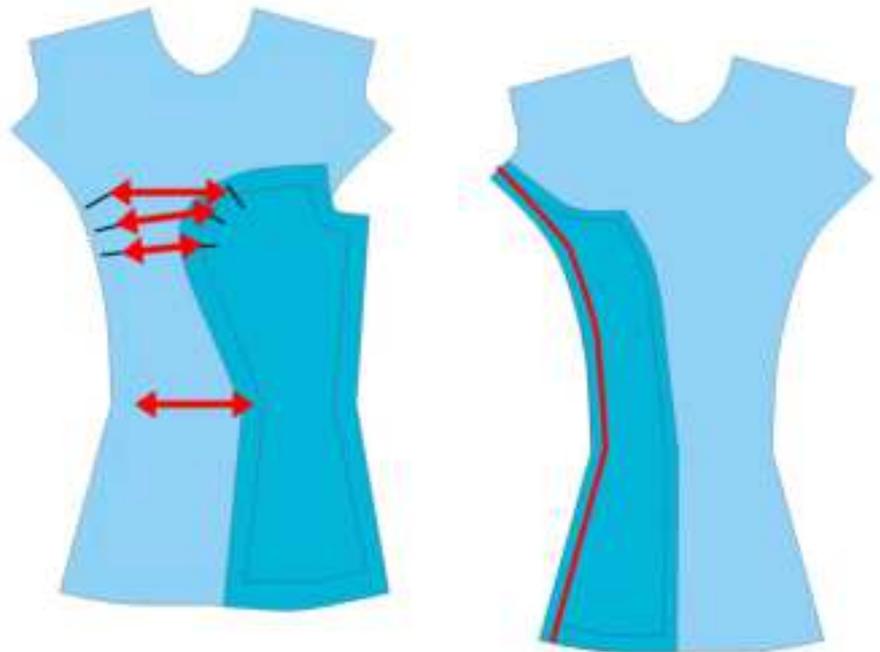


42. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕

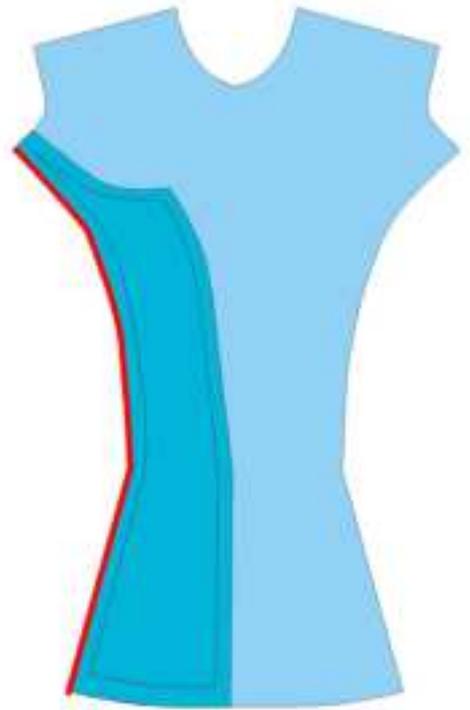


43. 前身頃と脇の W、三 を、目印に表が内側になる様に合わせて縫う。

- 〔 反対側も同じように縫う。
※前身頃と前脇は特に立体的な構造の為、
右図は簡略化した図となっています。〕



44. 縫い代を2枚一緒にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。
 [反対側も同じように縫う。



45. 縫い代を前身頃に倒して、アイロンをかける。
 [反対側も同じようにアイロンをかける。



下から見た時

View from below

前脇

front side

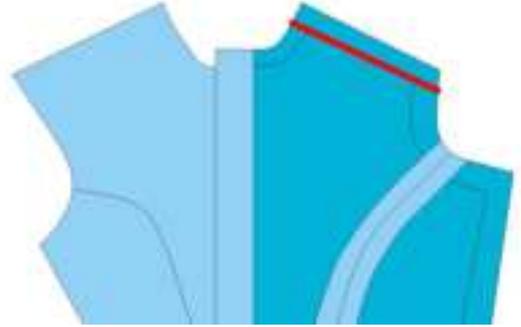


前身頃

front bodice

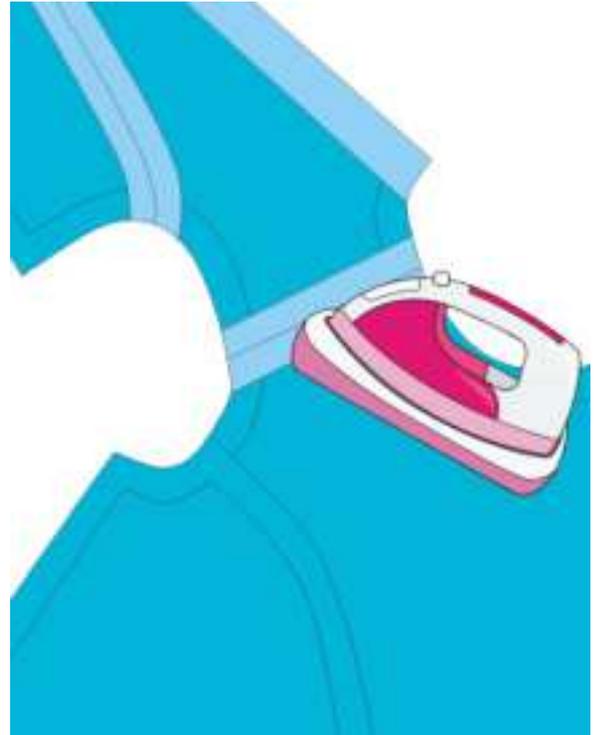
46. 前身頃と後身頃の肩を、表が内側になる様に合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



47. 縫い代を開いてアイロンをかける。

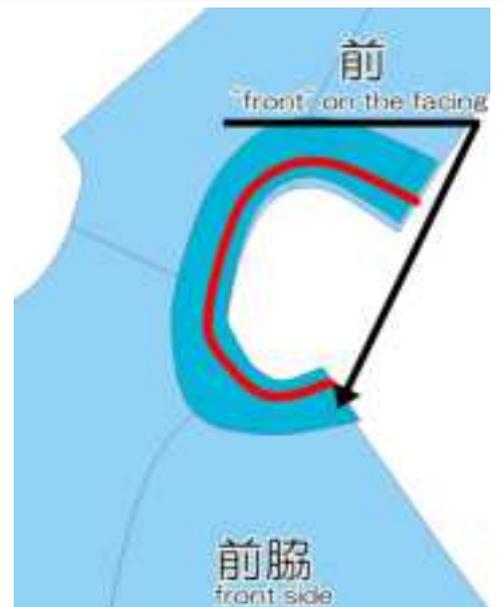
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



48. 表が内側になる様に、身頃と見返しを合わせて縫う。

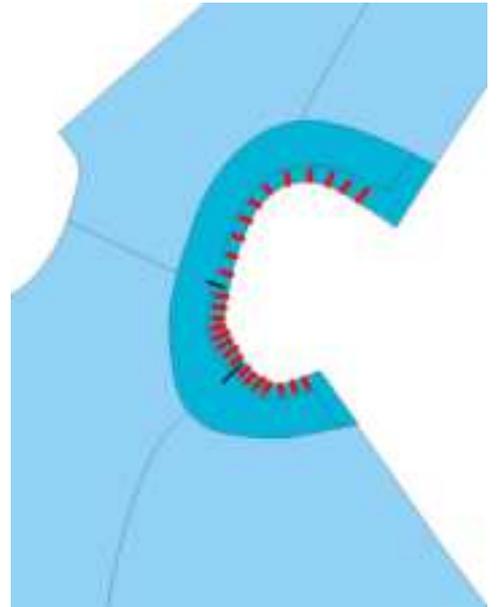
〔 見返しは“前”と書かれている方を前脇側にする。〕

〔 反対側も同じように縫う。〕



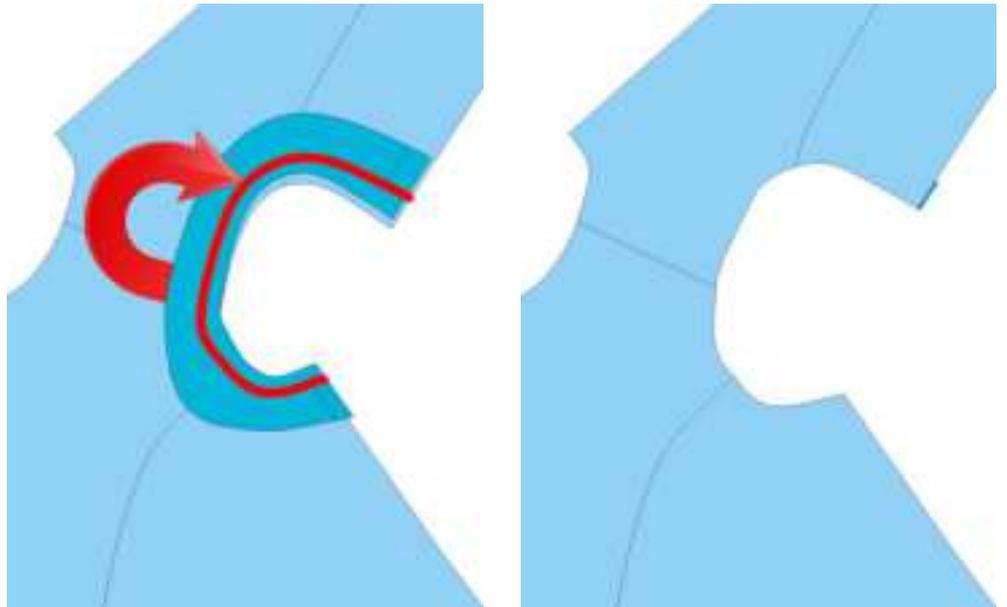
49. 袖のカーブに切り込みを入れる。

- 〔前身頃-前脇は 2mm~3mm の狭い間隔で切る。
- 〔反対側も同じように切り込みを入れる。



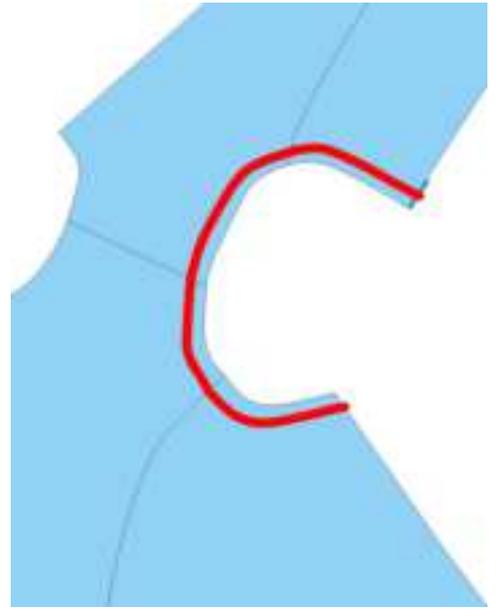
50. 見返しを折り返す。

- 〔反対側も同じように折り返す。

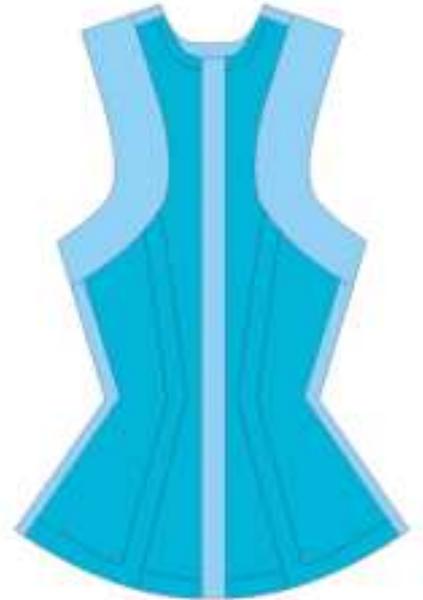
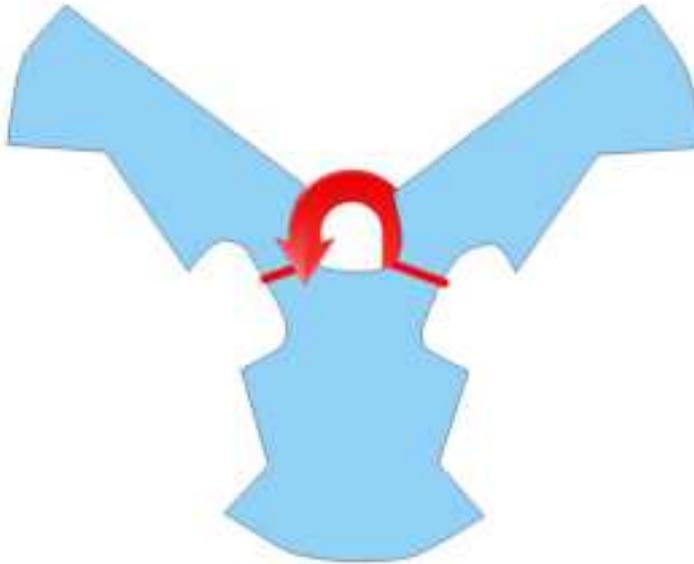


51. 縁を縫う。

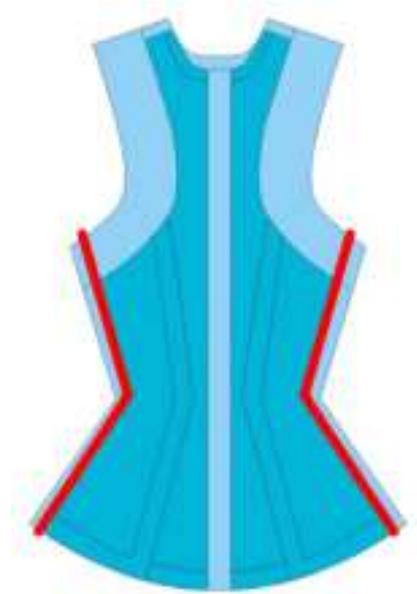
前身頃側は余分な布を縫いこみやすいので、
ミシンの場合は低速で針が落ちる場所を確認しながら縫うか、
手縫いがおすすめ。
反対側も同じように縫う。



52. 表が内側になる様に、身頃を肩の線で折る。

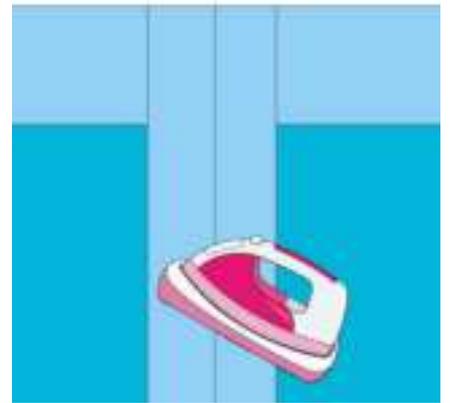


53. 袖下から裾までを縫う。



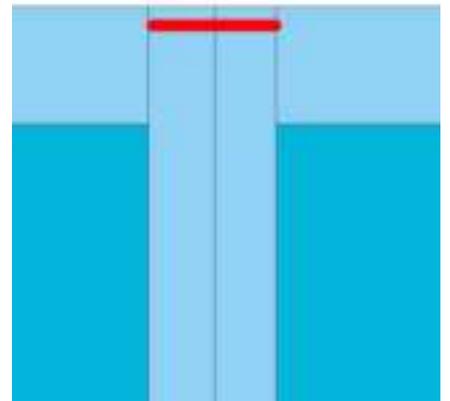
54. 脇の縫い代を両側を開いて、アイロンをかける。

〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



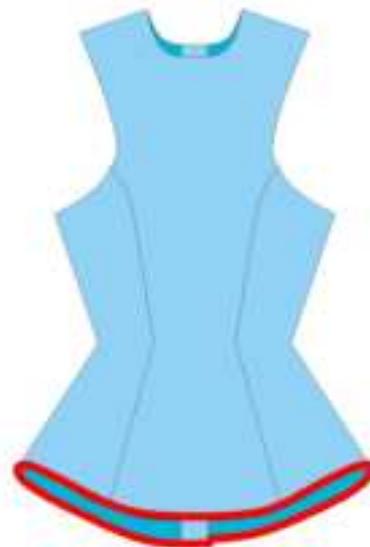
55. 54 の縫い代の縁を縫う。

〔 縫い代を押さえる為の工程なので、
気にならない場合は行わなくて OK。
手縫いでも OK。
反対側も同じようにアイロンをかける。〕



56. 表に返す。

57. 身頃裾をロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



58. 裾を出来上がり線で内側に折る。



59. 端を縫う。

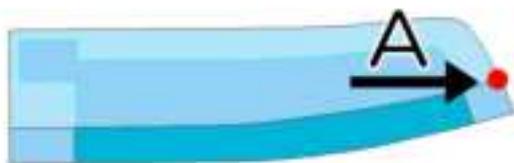
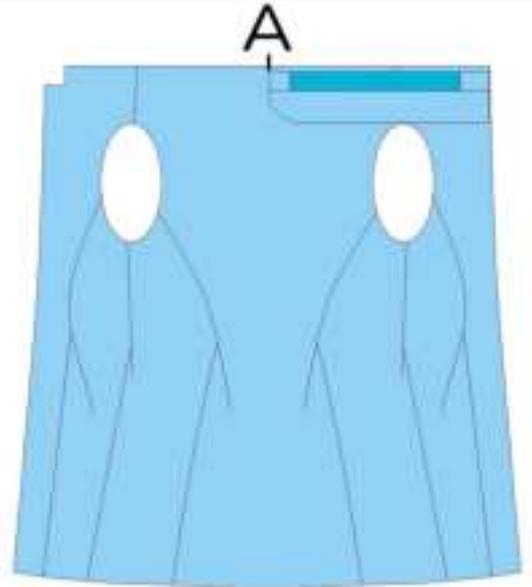


60. 襟ぐりに切り込みを入れる。



61. 表が内側になる様に、襟ぐりと襟を合わせる。

- 前身頃の A と、襟の A を合わせる。
- 片方ずつ縫っても OK。
- 襟ぐり：襟のカーブの事。ネックライン。



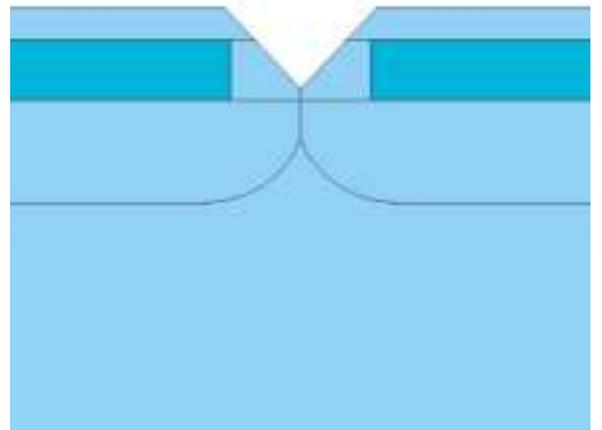
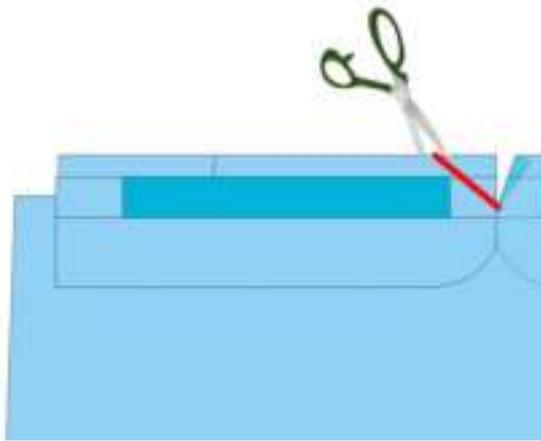
62. 合わせたところを縫う。

〔縫う時に襟を巻き込まない様に**注意**。〕

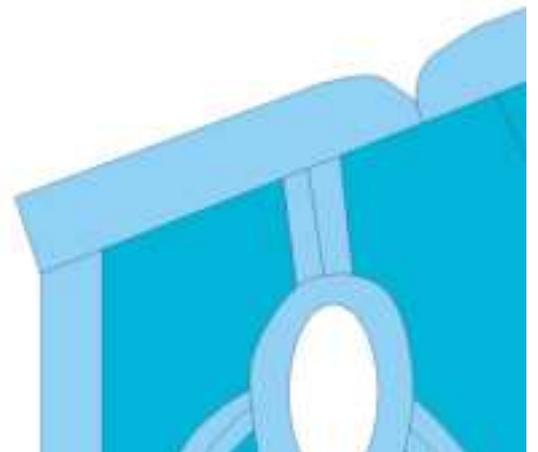


63. 前身頃 A の角をカットする。

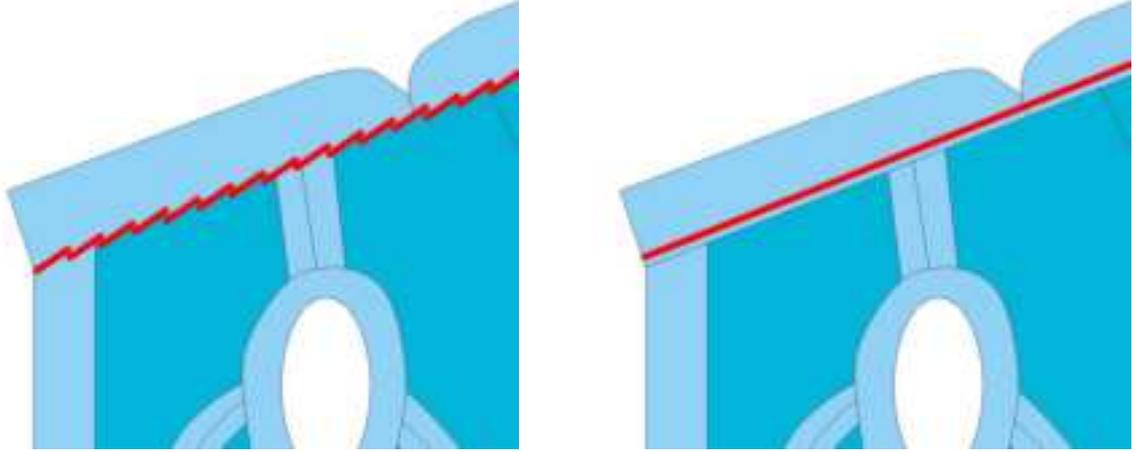
〔反対側も同じようにカットする。〕



64. 襟を持ち上げて、縫い代を襟の中に入れる。



65. 襟 裏布をまつり縫いでとじるか、襟の下部をミシンで縫う。

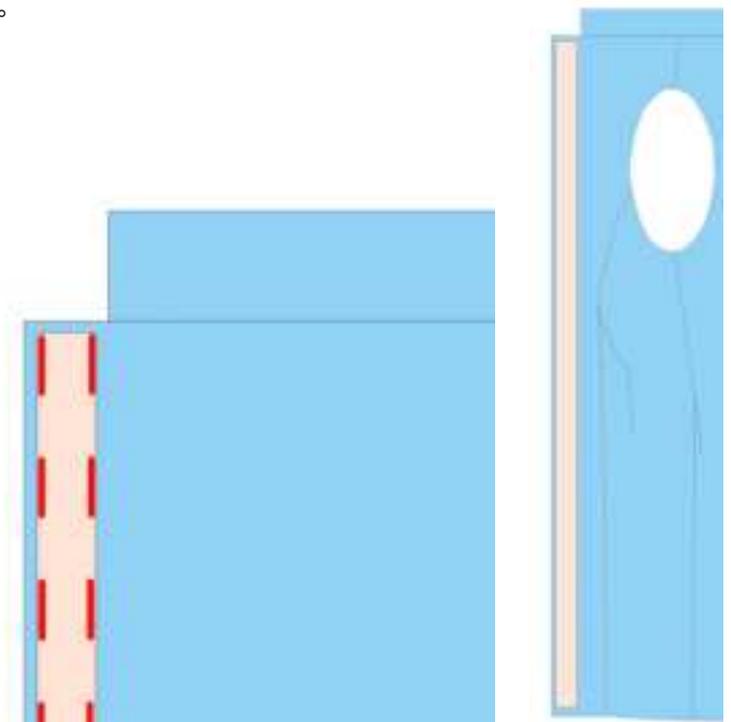


66. アイロンをかける。

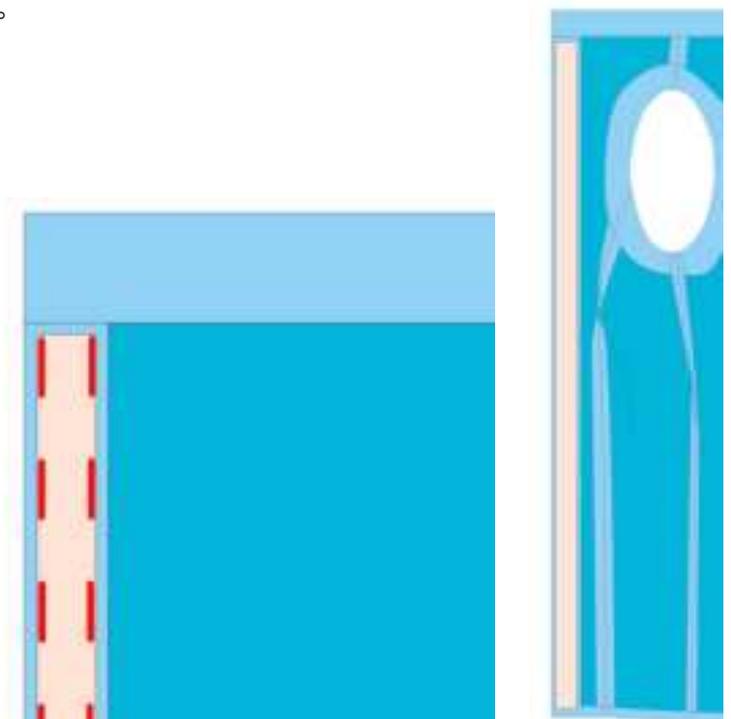


67. 面ファスナーをオス、メス各 15cm×0.7cm に切る。

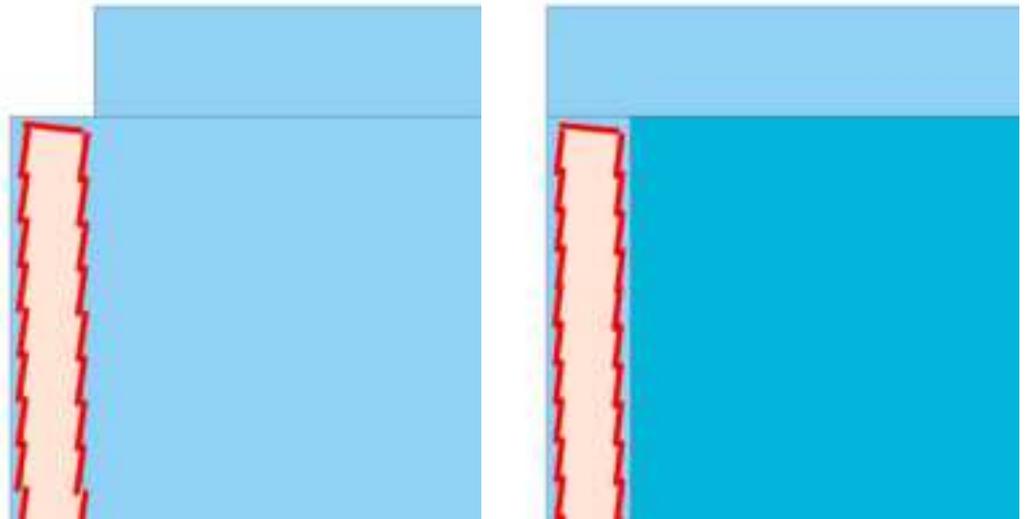
68. 前身頃 A の表に面ファスナーを仮縫いでとめる。



69. 前身頃 B の裏に面ファスナーを仮縫いでとめる。



70. 仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いかミシンで縫い付ける。



71. 前身頃中央に飾りボタンを付ける。

お疲れ様でした！